

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大田花き

コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 磯村 信夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

四半期報告書提出予定日 平成27年11月16日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,383	—	60	—	85	—	48	—
27年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 48百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	9.49	—
27年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	6,721	4,607	68.6	905.56
27年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,607百万円 27年3月期 1百万円

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,760	—	195	—	237	—	165	—	32.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	5,500,000 株	27年3月期	5,500,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	411,463 株	27年3月期	410,539 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	5,089,173 株	27年3月期2Q	5,089,461 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社は、平成28年3月期第1四半期より連結決算へ移行いたしました。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、アメリカ経済は堅調であるものの、中国経済の減速、ギリシャ問題や難民問題を抱える欧州経済の停滞といった国際情勢を受け、先行きが不透明な状況で推移しました。一方、国内の個人消費は、天候による影響を受けたものの概ね順調であったと言えます。

花き業界においては、7月、8月のお盆、9月のお彼岸を含むシルバーウィークなど、夏場は切花の需要期が続きますが、鉢物は暑さに加え、家庭では長期の休暇で家をあけることが増える時期であるため、需要は抑えられる傾向にあります。

本年の切花生産は、7月は生産量も単価も例年並みでしたが、8月は開花時期が計画より早まったため、お盆需要が活発となるタイミングで品不足となり高値になりました。9月も需要期を中心に品薄が続き堅調でした。

鉢物類は、夏場の需要減にあわせて生産を休む農家が増えたため、生産量は2割減となりましたが、相場は反発せず例年並みの単価となりました。

当社グループは、このような状況の中、夏場の切花栽培は天候により生産が大きく左右されるため、花束加工業者や仲卸・地方市場向けに使用数量の一定割合を確保し、産地とともに安定供給することに努めました。

お盆の需要期には、全国的な品不足となりましたが、当社を中心にグループ全体で商品を行き渡らせることで、それぞれの地域の中央市場を補完する役割を果たしました。また、夏場は生産量が減少する九州においては、高冷産地から色鮮やかで日持ちのいい花を流通させるための仕組みを子会社である株式会社九州大田花きが中心となって整えるなどし、業績を伸ばしました。

鉢物類の需要動向としては例年並でありましたが、観葉植物人気に復活の兆しがあり、積極的な集荷・販売をしました。デザイナーやフローリストが売りたいと思うような商品を集荷・販売することができました。一方で、ラン鉢の主力であるファレノは昨年と比べると、法人向けの販売が振るわず、取扱数量・単価とも例年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間(平成27年4～9月)における当社グループの業績は、売上高13,383,166千円、営業利益60,237千円、経常利益85,014千円、親会社株主に帰属する四半期純利益48,282千円となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、6,721,671千円となりました。主な内訳は現金及び預金1,805,444千円、売掛金1,729,667千円であります。

負債につきましては、2,113,707千円となりました。主な内訳は受託販売未払金1,093,570千円であります。

純資産につきましては、4,607,964千円となりました。主な内訳は利益剰余金4,003,450千円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,803,444千円となっております。

営業活動の結果増加した資金は、4,085千円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益85,014千円、減価償却費78,508千円、売上債権の減少75,758千円によるものです。また、主な減少要因は、仕入債務の減少170,320千円、未払消費税等の減少40,523千円、法人税等の支払額15,824千円によるものです。

投資活動の結果減少した資金は、755,692千円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出827,294千円によるものです。

財務活動の結果減少した資金は、69,727千円となりました。主な要因は、配当金の支払額58,880千円及びリース債務の返済による支出10,018千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月8日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、子会社である株式会社大田ウィングス及び株式会社九州大田花きを連結の範囲に含めております。また、四半期純損益及び利益剰余金に重要な影響を及ぼすため、関連会社である株式会社とうほくフラワーサポート、株式会社ディーオーシー及び花き施設整備有限会社を持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,805,444
売掛金	1,729,667
商品	967
その他	139,737
貸倒引当金	△9,728
流動資産合計	3,666,087
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	113,877
工具、器具及び備品(純額)	246,825
建設仮勘定	835,020
その他(純額)	149,723
有形固定資産合計	1,345,447
無形固定資産	
ソフトウェア	96,710
その他	4,265
無形固定資産合計	100,975
投資その他の資産	1,609,160
固定資産合計	3,055,583
資産合計	6,721,671
負債の部	
流動負債	
受託販売未払金	1,093,570
買掛金	76,372
未払法人税等	41,732
賞与引当金	59,131
その他	221,562
流動負債合計	1,492,368
固定負債	
退職給付に係る負債	292,831
その他	328,507
固定負債合計	621,339
負債合計	2,113,707
純資産の部	
株主資本	
資本金	551,500
資本剰余金	402,866
利益剰余金	4,003,450
自己株式	△349,852
株主資本合計	4,607,964
純資産合計	4,607,964
負債純資産合計	6,721,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	13,383,166
売上原価	12,074,509
売上総利益	1,308,656
販売費及び一般管理費	1,248,419
営業利益	60,237
営業外収益	
受取利息	2,599
受取配当金	4,500
持分法による投資利益	3,201
その他	14,476
営業外収益合計	24,777
経常利益	85,014
税金等調整前四半期純利益	85,014
法人税等	36,732
四半期純利益	48,282
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,282

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	48,282
その他の包括利益	—
四半期包括利益	48,282
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	48,282
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	85,014
減価償却費	78,508
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,131
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,063
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△618
受取利息及び受取配当金	△7,099
持分法による投資損益(△は益)	△3,201
売上債権の増減額(△は増加)	75,758
たな卸資産の増減額(△は増加)	△589
仕入債務の増減額(△は減少)	△170,320
未収入金の増減額(△は増加)	4,876
未払費用の増減額(△は減少)	3,929
未払金の増減額(△は減少)	△6,577
未払消費税等の増減額(△は減少)	△40,523
その他	△73,588
小計	△2,237
利息及び配当金の受取額	22,147
法人税等の支払額	△15,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,085
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△827,294
無形固定資産の取得による支出	△1,300
貸付けによる支出	△102,800
貸付金の回収による収入	75,703
投資活動によるキャッシュ・フロー	△755,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△827
配当金の支払額	△58,880
リース債務の返済による支出	△10,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,727
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△821,333
現金及び現金同等物の期首残高	2,624,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,803,444

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。